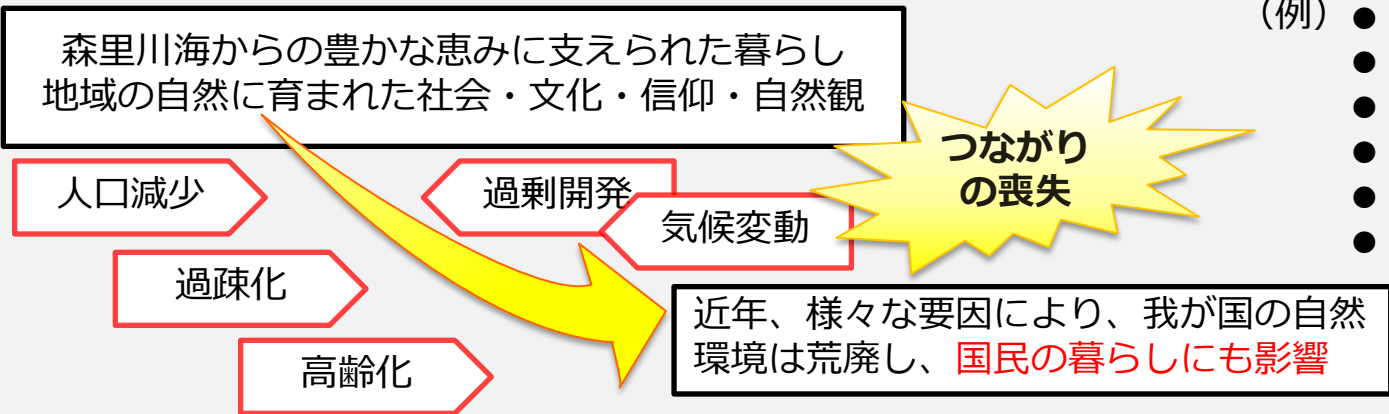


前文ープロジェクトの背景・目標等

現状と課題



- (例)
- 資源の枯渇
 - ふれあい機会の喪失
 - 森林・里地里山の荒廃
 - 鳥獣被害の深刻化
 - 災害の甚大化
 - 自然と共生した暮らしと日本の自然観の喪失

森里川海で拓く成熟した社会づくり

- 再生可能エネルギーの活用で**地域経済**を回す
- 個性ある風土づくりで**交流人口**の増加を図る
- **安心・安全**な衣食住を提供する
- **少量多品種、高付加価値化**の一次産品づくりへ
- 生態系を活用して**防災・減災**を図る

目標

森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出す

自然が本来もつ力を引き出すことで森里川海と恵みが循環する社会

一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくる

森里川海の恵みの持続的利用により、人と自然、人と人が共生する社会

基本原則

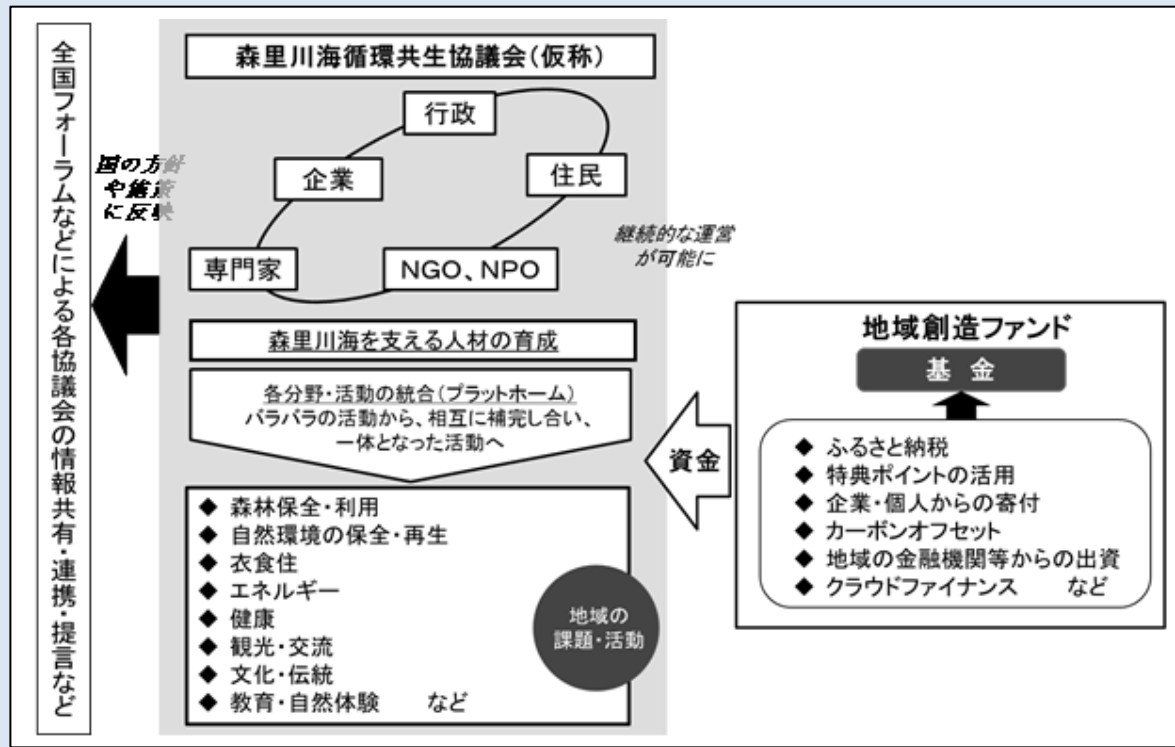
- 人口減少・高齢化が進むことを逆手にとる
- 地方創生に貢献する
- 地域だけでなく国全体で支える
- 縦割りを解消、関係者間、地域間の一層の連携
- 目指す姿からバックカスティングアプローチをとる
- 別の目的のための取組にも配慮

具体的な取組アイデア

①地域の草の根の取組

- **8つのプログラム**
- 森林のメタボ解消、健全化プログラム
- 生態系を活用したしなやかな災害対策プログラム
- 江戸前」など地域産食材再生にも貢献する豊かな水循環形成プログラム
- トキやコウノトリなどが舞う国土づくりプログラム
- 美しい日本の風景再生プログラム
- 森里川海からの産業創造プログラム
- シカなどの鳥獣や外来生物から国土・国民生活を守るプログラム
- 自然資本を活かした健康で心豊かな社会づくりプログラム

②実現に向けた仕組み



③ライフスタイルの変革

自然の循環を基盤とし、その恵みを**自立的かつ持続的に享受できるライフスタイルの実現**

- **3つのプログラム**
- 森里川海の中で遊ぶ子どもの復活プログラム
- 森里川海とつながるライフスタイルへの変革プログラム
- 森里川海の恵みの見える化プログラム

低炭素・資源循環・自然共生が同時に達成される真に持続可能な循環共生型の地域社会(環境・生命文明社会)を創造

今後の進め方

- 資金を確保する仕組みについては、**2~3年程度かけてモデル事例**をつくる
- 森里川海を支えることの必要性について、できる限り早期に**国民的な合意**を得ることが不可欠
- ライフスタイルの変革に向けては、各主体においても積極的に実施